

整形外科領域において、外傷は基本だと言われています。もちろんそれは真実ですが、専攻医に対し整形外科の基本である外傷を教育する体制は果たして充実しているのでしょうか。わが国は公的に外傷センターを認定する制度がないため、重症患者は直近の救命センターに搬送されるルールに従っており、必ずしも適切な施設に搬送されていないのが実情です。しかし重症外傷は数が少ないからこそ、外傷の研修を希望する専攻医に治療経験を担保する体制を構築すべきではないでしょうか。

この状況を打破しようと、整形外科外傷センターを標榜する施設が散見されるようになってきました。救命センターにいったん入院した多発外傷患者のうち、全身状態が落ち着いた整形外科外傷患者や、一般整形外科では荷が重い重症骨折患者を集めようという構想です。

このような整形外科外傷センターに勤務している整形外科医は数多くの外傷症例を手術しており、整形外科指導医に相応しい経験を持っていると思います。そして、臨床研究を論文化したり、海外の学会で発表するなど、研究の業績も着実に積み上げているようです。整形外科の基本である外傷をしっかりと専攻医に教育することはとても重要なことであり、整形外科指導医という資格を制度化することは必要なのではないでしょうか。指導医の制度化により、整形外科の教育が磐石になると期待できます。

重症外傷の治療は、まだまだ発展途上の感があります。手術のタイミング、感染のコントロール、続発症の早期発見と治療、そして整形外科以外の他診療科との連携、これらにこだわって治療をすることで、新たな道がひらけてくる、それこそが整形外科の醍醐味だと思います。整形外科の指導体制を整えることで、それを専門にしたいと希望する若い整形外科医はきっと増えることでしょう。

(井口浩一)

令和6年6月19日発行

関節外科－基礎と臨床－ Journal of Joint Surgery Vol.43 No.6

発行：年14回（年12回発行＋増刊号2回）

編集顧問 高倉義典／進藤裕幸／筒井廣明／吉矢晋一

編集主幹 帖佐悦男

編集委員 田中康仁／岩堀裕介／内尾祐司／尾崎敏文／高平尚伸／岡崎 賢／國吉一樹／大鳥精司

発行人 吉田富生

発行 (株)メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-30

TEL 03-5228-2050／FAX 03-5228-2059

ホームページ <https://www.medicalview.co.jp>

email eigyo@medicalview.co.jp（営業部）

jjs@medicalview.co.jp（『関節外科』編集部）

印刷所 三報社印刷（株）／〒136-0071 東京都江東区電戸7-2-12

- ・本誌に掲載された著作物の複製権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、上映権、データベースへの取り込みおよび公衆送信権（送信可能化権を含む）、譲渡権等は（株）メジカルビュー社が保有します。
- ・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, email info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。
- ・本誌をコピー、スキャン、デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は、著作権法上での限られた例外（「私的使用のための複製」など）を除き禁じられています。大学、病院、企業などにおいて、研究活動、診察を含み業務上使用する目的で上記の行為を行うことは私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

広告申込先：（株）文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 宮田ビル5階 TEL 03-3814-8541